

自己点検・評価報告書

動物実験に関する自己点検・評価報告書

大妻女子大学

令和2年12月

自己点検・評価報告書

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

大妻女子大学動物実験等管理規程

大妻女子大学動物実験施設管理規程

大妻女子大学動物飼育室及び動物実験室緊急時対応マニュアル

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

全学の規程である「大妻女子大学動物実験等管理規程」が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当せず。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検の対象とした資料

大妻女子大学動物実験等管理規程

大妻女子大学動物実験委員会規程

大妻女子大学動物実験委員会名簿

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

大妻女子大学動物実験委員会が組織された。全学の動物実験委員会に一本化され、適正に運営されている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当せず。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

大妻女子大学動物実験等管理規程

動物実験計画書

動物実験終了報告書、動物実験委員会メール議事録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

動物実験規程が適正に定められており、毎年継続実施されている実験計画については委員会委員のメール審議により迅速審査が行われている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

大妻女子大学動物実験等管理規程

遺伝子組換え実験安全管理規程

大妻女子大学動物実験施設管理規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

適切な実施体制となっている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

大妻女子大学動物実験等管理規程

大妻女子大学動物実験マニュアル

大妻女子大学動物実験施設管理規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

機関内規程に基づき飼養保管施設・実験室を把握し、各施設に管理者を置いている。

飼養保管施設・実験室は全て常時施錠されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当しない。

自己点検・評価報告書

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

大妻女子大学動物実験等管理規程

大妻女子大学動物実験委員会規程

令和元年度大妻女子大学動物実験委員会活動報告

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

機関内規程に基づき、委員会の役割を果たしている。

動物実験計画書審査の過程がメール議事録に記録されている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当せず。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験計画書

動物実験終了報告書

令和元年度大妻女子大学動物実験委員会活動報告

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当せず。

自己点検・評価報告書

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

大妻女子大学動物実験等管理規程

動物実験計画書

動物実験終了報告書

遺伝子組換え実験安全管理規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

安全管理が適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

大妻女子大学動物実験等管理規程

大妻女子大学動物実験マニュアル

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼育保管が適正に行われている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

各施設の立ち入り調査記録写真（実施者：青江誠一郎）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

適正に維持管理されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

大妻女子大学動物実験等管理規程

教育訓練実施報告

教育訓練に用いた資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

機関内規程に基づき、適正に実施している。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

自己点検・評価報告書

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

大妻女子大学ホームページ

動物実験に関する自己点検・評価報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

自己点検・評価について情報公開がなされている。

<http://www.otsuma.ac.jp/about/intro/animal>

4) 改善の方針、達成予定期

該当せず。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

1) 大妻女子大学における動物実験の実施における自己点検・評価に関する報告書の集計について 別紙1のとおり

2) 動物種ごとの使用数の集計について 別紙2のとおり

自己点検・評価報告書

別紙 1

動物実験の実施における自己点検・評価に関する報告書集計（令和元年度）					
部局名	動物実験計画書審査のまとめ		動物実験従事者及び飼養者数	飼養保管施設の設置状況	飼養保管施設から独立した実験室
	許可件数	不許可・取り下げ件数			
食物学科	13	0	17	2	1
合計	13	0	17	2	1

動物種ごとの使用数

令和元年度動物実験使用数（終了および実施中を含む）

所属	動物種	使用数
食物学科(含 大学院)	ラット マウス	86 547
計	ラット マウス	633